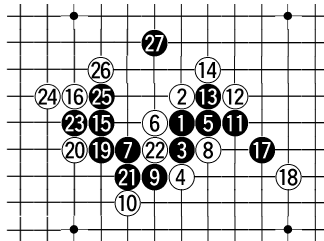


# 松月定石の一研究 (7)

九段 河村典彦

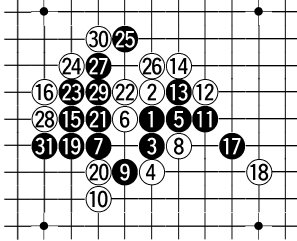
今回はその他の白14の防ぎについて調べてみよう。内容的には「なにもここまでやらなくても」という範囲ではあるが、この際すべて解決しておきたい。

第51図



【第51図】この白14はその左右一路ずつれた強防と比べるとどつちつかずの印象が否めない。しかし、ノリ手を狙った一手であるため、ここから追い勝ちにする必要がある。

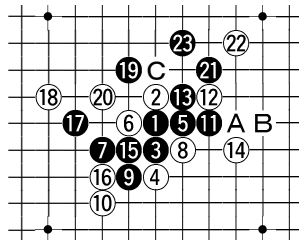
第52図



狙うは左辺である。そこで、前にもやったように、黒19の含みからスタートする。白14を一路右の防ぎと同じように進めるが、それよりも簡単になる。というのも、黒21が三になるからで、白20の防ぎに対し手順に引いていけば勝てる。なお、白20を22なら、以前と同じく黒25、23と打てば勝てるので省略する。

【第52図】白20はトビ三を警戒したそれらしい防ぎのようである。しかし、これにも黒は21と見せて以下難なく勝てるだろう。と言うのも、やはり黒31の剣先が残っているのが大きく、黒はそれを目

第53図



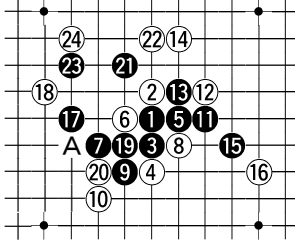
指して引いていけば良い。

【第53図】白14は斜めの筋を止めて強そうに見えるが、実はそうではない。左右に遠く離れた剣先をつなげることが勝ちにつながるので、それを目指せばよい。黒19が左右をつなげる一手で、黒23で両勝ちとなる。

また、白14をAやBなら黒Cと引いてから、同様に黒15と19と打って両勝ちとなるので、黒が勝てることを確認したきたい。なお、白14で17と左側を止めるのは、C、21、23で両勝ちとなる。つまり、右辺だけで黒は勝てるので、白は

左右をにらんだ防ぎが必要と言う訳だ。

第54図



【第54図】ここまで来るともう防ぎはないように見えるが、白14なんていう防ぎも可能だ。というのも、先程と同じように引いていき黒21で両勝ちにすると、白22でノリ手になる。続いて黒23で今度こそ両勝ちと思いきや、白24で再びノリ手になってしまう。

さすがにここまで来ると、黒勝ちが難しくなるので、黒は打ち変えないといけない。やはり黒19でAと打つのが良いだろう。白14を一路下の時と同じ勝ち方になる。これでようやく、白12の防ぎに勝

ちが出たことになる。長かった。